

特別展

～明治の子どもたちが学んだ物語～

さるかに イソップ シンデレラ

令和5年2月7日(火)～3月26日(日)

ま  
な  
び  
や

国語や道徳などの教科書には、数多くの物語が取り上げられています。中には、「くじらぐも」「スーホの白い馬」「こんぎつね」など、数十年にわたって教科書に掲載されているものもあります。また、記憶に残っている、印象深い話もあるのではないのでしょうか。

明治時代の小学校教科書にも、たくさんのお話が採用されていました。その中には、今でもよく知られている話もあり、内容や表現が変わっている話もあります。

今回の「まなびや」では、展示の中から明治の子どもたちが学んだ、3つの欧米の物語を紹介します。

正直の童子 不正直の童子  
「金の斧銀の斧」

原作はイソップ物語の「金の斧（ヘルメスと木こり）」です。木こりがあやまって川に斧を落としたという設定が、子どもが道ばたで銅貨を投げて遊んでいたところ、家の垣

根に入ってしまった、家の主人が「そなたが失ったのはこの金貨か？」と尋ねる設定になっています。なお、ヘルメスは女神ではなく、ギリシャ神話に出てくる男神です。



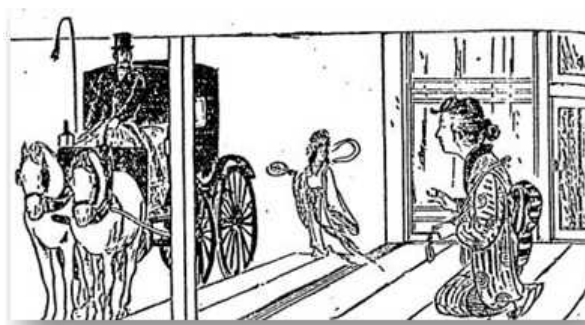
▼吉田賢輔編「初学読本六」  
一八八五(明治19)年



蟻トセミ  
「アリとキリギリス」



おしん物語  
『シンデレラ』  
坪内逍遙による翻訳がなされた作品です（原作はグリム童話のシンデレラ）。お城の舞踏会が大名屋敷の園遊会、ガラスの靴が置き忘れた扇子の図柄を言い当てる、ヒロインの名も「シンデレラ」から「おしん」に変わっています。



『国語読本 高等科女子用巻一』

特別展関連DVD上映会

『イソップ物語』

▼上映期日【特別展会期中】

令和5年2月～3月中の  
土曜・日曜・祝日

▼上映時間【各回約30分】

① 10:00  
② 11:00  
③ 14:00  
④ 15:00